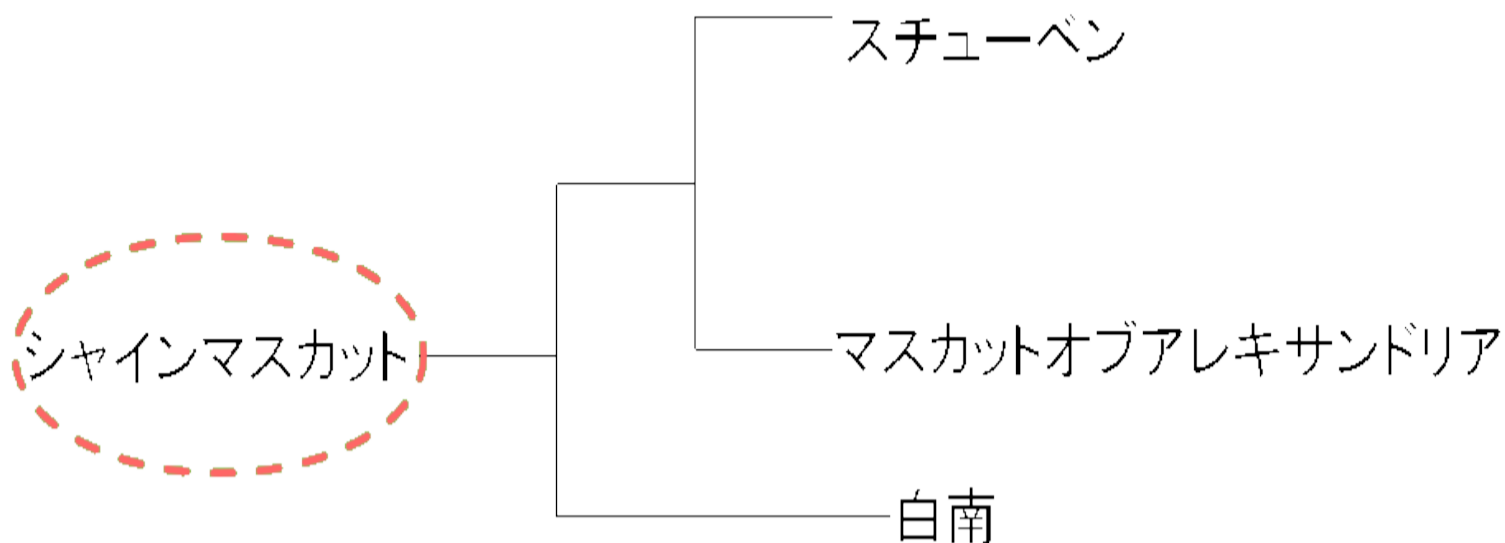


注目のブドウ新品种「シャインマスカット」

来歴

農林水産省果樹試験場安芸津支場（現(独)果樹研究所ブドウ・カキ研究部）で育成された品種。平成15年9月に農林水産省育成新品种として命名された。



シャインマスカットの果房



特徴

熟期は巨峰とほぼ同時期で、果皮の色は黄緑色である。有核果粒は巨峰よりやや小さいが、種無し栽培では有核果粒より1g程度大きくなり、平均10~11g程度の短楕円となる。栽培条件によっては13g以上にすることも可能である。肉質は崩壊性（噛み切りやすい）で硬く、マスカット香（ヨーロッパブドウの香り）がある。糖度は巨峰と同等の19度程度で、酸は0.4%程度と低く食味は優れている。

裂果性は巨峰と同程度で、脱粒しにくく、円錐形の果房で摘粒はやや省力的である。

果皮がはく皮しにくいですが、果皮が薄く渋みもないので、種無し栽培することで崩壊性の肉質と合わせて、皮ごと食すと「パリッ」とした食感が楽しめるユニークなブドウであり、相当の消費ニーズが見込まれる。